

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第21期（決算日2025年4月10日）

作成対象期間（2024年4月11日～2025年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2029年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	百万円
17期(2021年4月12日)	25,985	1,200	40.2	33,595.59	46.0	97.4	3,251
18期(2022年4月11日)	26,189	1,200	5.4	36,055.84	7.3	98.6	3,409
19期(2023年4月10日)	22,680	900	△10.0	32,911.60	△ 8.7	99.1	2,628
20期(2024年4月10日)	24,937	1,000	14.4	39,155.21	19.0	98.5	2,241
21期(2025年4月10日)	21,265	800	△11.5	38,475.62	△ 1.7	93.9	1,509

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
※2025年4月10日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

* 参考指数（＝MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース））は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。設定時を10,000として指数化しております。
* MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2024年4月10日	円	%	%	%	%	%
	24,937	—	39,155.21	—	98.5	—
4 月 末	24,597	△ 1.4	38,563.03	△ 1.5	99.0	—
5 月 末	24,138	△ 3.2	39,193.10	0.1	98.2	—
6 月 末	23,940	△ 4.0	40,349.24	3.0	98.4	—
7 月 末	24,936	△ 0.0	40,023.47	2.2	95.0	—
8 月 末	25,056	0.5	40,742.02	4.1	97.9	—
9 月 末	25,293	1.4	41,450.09	5.9	96.7	—
10 月 末	24,639	△ 1.2	41,614.16	6.3	99.7	—
11 月 末	25,084	0.6	42,575.89	8.7	95.6	—
12 月 末	23,420	△ 6.1	42,287.06	8.0	99.1	—
2025年1 月 末	24,285	△ 2.6	43,200.51	10.3	98.2	—
2 月 末	23,334	△ 6.4	42,045.79	7.4	97.8	—
3 月 末	22,831	△ 8.4	40,226.77	2.7	98.4	—
(期 末) 2025年4月10日	22,065	△11.5	38,475.62	△ 1.7	93.9	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	百万円
17期(2021年4月12日)	29,769	1,200	45.4	41,152.35	51.4	98.1	9,211
18期(2022年4月11日)	33,493	1,500	17.5	49,068.97	19.2	97.8	11,100
19期(2023年4月10日)	31,441	1,300	△ 2.2	49,212.93	0.3	98.3	10,089
20期(2024年4月10日)	41,452	1,800	37.6	69,966.32	42.2	98.3	12,111
21期(2025年4月10日)	35,582	1,600	△10.3	70,010.28	0.1	95.4	9,813

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
※2025年4月10日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

* 参考指数（＝MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース））は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自に円換
算したものです。設定時を10,000として指数化しております。
* MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCI
は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

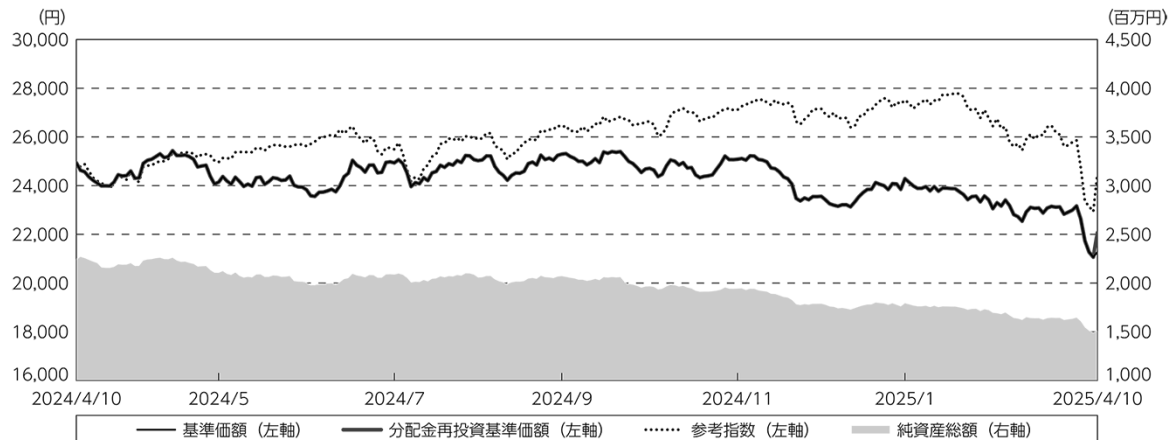
年 月 日	基 準	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2024年4月10日	円	%	%	%	%	%
4月末	41,452	—	69,966.32	—	98.3	—
5月末	42,218	1.8	71,120.60	1.6	97.8	—
6月末	41,676	0.5	72,746.60	4.0	98.0	—
7月末	42,532	2.6	76,998.43	10.1	97.8	—
8月末	42,328	2.1	72,863.88	4.1	98.0	—
9月末	40,818	△ 1.5	71,553.64	2.3	98.3	—
10月末	40,877	△ 1.4	72,270.85	3.3	98.9	—
11月末	42,662	2.9	77,544.55	10.8	98.4	—
12月末	42,650	2.9	77,918.04	11.4	98.2	—
2025年1月末	41,717	0.6	81,039.46	15.8	98.1	—
2月末	42,371	2.2	81,287.63	16.2	98.5	—
3月末	39,667	△ 4.3	77,002.76	10.1	98.5	—
(期 末) 2025年4月10日	39,071	△ 5.7	74,312.83	6.2	99.3	—
	37,182	△10.3	70,010.28	0.1	95.4	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2024年4月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）です。参考指数は、作成期首（2024年4月10日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首24,937円から期末21,265円となりました。

（上昇）

- ・2024年5月のFRB（米連邦準備制度理事会）の早期利下げ観測やECB（欧州中央銀行）の利下げ転換への見通しの強まり、2024年8月の米景気後退懸念の落ち着いたこと、2024年9月に中国が発表した大規模景気刺激策、2024年9-12月のFRBやECBによる利下げ実施など。
- ・2025年1月の米消費者物価指数で物価上昇圧力が緩和されつつあるとの見方が強まったこと、トランプ米大統領が就任初日は関税発動を見送ったことなど。

<Aコース>

(下落)

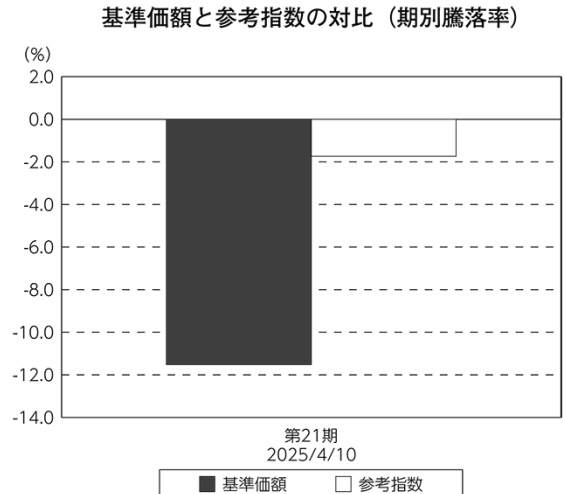
- ・ 2024年4月のFRBの利下げ開始先延ばしの見方の強まりや中東情勢の緊迫化懸念、2024年7月の中国やユーロ圏の景気動向への警戒感の高まりや、米国の中国に対する半導体の貿易制限への懸念など。
- ・ 2025年2月～期末、米国の経済指標が悪化し景気減速への懸念が高まったこと、トランプ米新政権による関税強化など。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の1.7%の下落に対し、基準価額は11.5%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり800円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第21期
	2024年4月11日～ 2025年4月10日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	3.626%
当期の収益	—
当期の収益以外	800
翌期繰越分配対象額	11,398

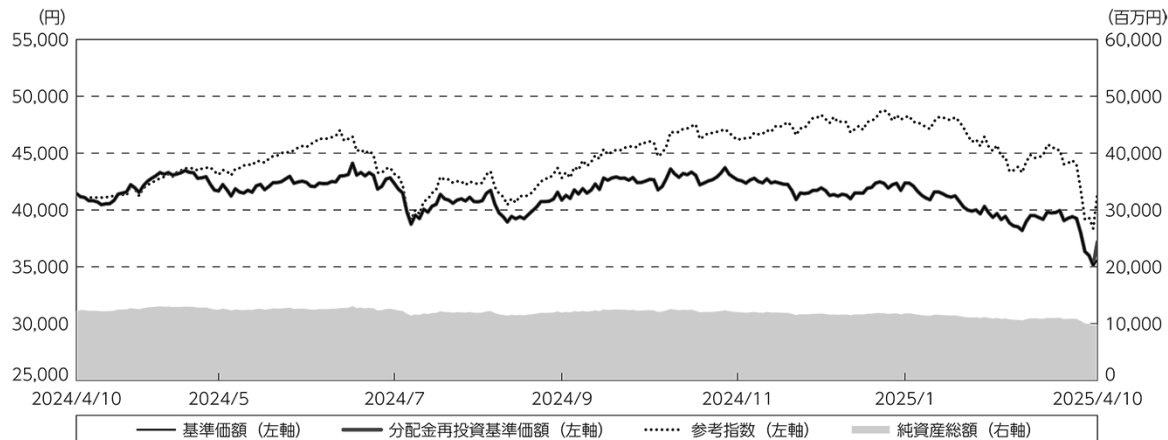
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：41,452円

期 末：35,582円 (既払分配金(税込み):1,600円)

騰落率：△ 10.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2024年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。参考指数は、作成年首(2024年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首41,452円から期末35,582円となりました。

(上昇)

- ・2024年5月のFRB(米連邦準備制度理事会)の早期利下げ観測やECB(欧州中央銀行)の利下げ転換への見通しの強まり、2024年8月の米景気後退懸念の落ち着いたこと、2024年9月に中国が発表した大規模景気刺激策、2024年9-12月のFRBやECBによる利下げ実施など。
- ・2025年1月の米消費者物価指数で物価上昇圧力が緩和されつつあるとの見方が強まったこと、トランプ米大統領が就任初日は関税発動を見送ったことなど。

<Bコース>

(下落)

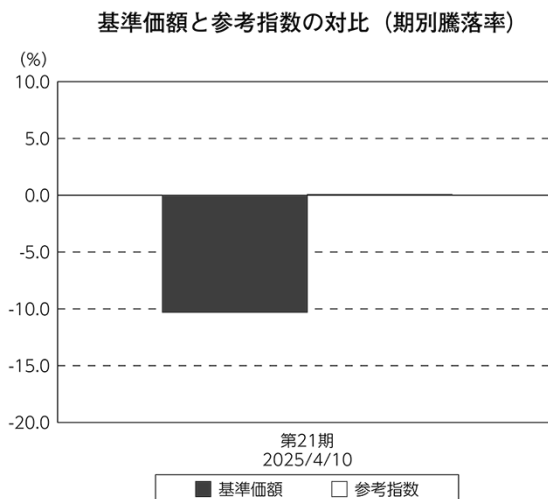
- ・2024年4月のFRBの利下げ開始先延ばしの見方の強まりや中東情勢の緊迫化懸念、2024年7月の中国やユーロ圏の景気動向への警戒感の高まりや、米国の中国に対する半導体の貿易制限への懸念など。
- ・2025年2月～期末、米国の経済指標が悪化し景気減速への懸念が高まったこと、トランプ米新政権による関税強化など。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）の0.1%の上昇に対し、基準価額は10.3%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは異なった動きをしています。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,600円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第21期
	2024年4月11日～ 2025年4月10日
当期分配金	1,600
(対基準価額比率)	4.303%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,600
翌期繰越分配対象額	25,582

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレ、トランプ米大統領の関税政策などの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに下落（円高）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔ワールド・ウォーター・ファンド Aコース〕 および〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕は、主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れました。

〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ⑤主な売買では、スイスの特殊化学品会社や米国の廃棄物処理会社を新規に組み入れました。一方で、事業売却により水関連事業の業績寄与が低下した米国の工業用機器メーカーや米国の工業機械メーカーなどを全売却しました。

<Aコース／Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

米国ではインフレ率が依然としてFRB（米連邦準備制度理事会）が目標とする2%を上回る水準にとどまっていることに加え、トランプ米新政権の政策が先行きの物価に与える影響が懸念されています。世界の多くの地域で消費者は慎重で、裁量的な支出を控えています。米国や欧州の製造業PMI（購買担当者景気指数）は2023年の低い水準から改善を示しているものの、米国の関税政策などが景気の先行きに与える影響については注視が必要です。米国の住宅建設の見通しは、高金利を背景に抑えられたものになると予想していますが、長期的には供給不足を反映して需要が回復していくとみています。

水関連では、米国の財政政策の成果が関連企業の受注に反映され始めており、米国を拠点とする多くの地方自治体インフラ、多角化産業、コンサルティング関連企業の業績を下支えすると予想されます。また、廃棄物処理や上下水道サービスの企業については、これまでの値上げの効果と投入コストの軟化に伴う利益率改善の恩恵を受けると予想しています。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

＜Aコース／Bコース＞

こうした環境の中、長期的な構造変化の恩恵をうける銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

〔ワールド・ウォーター・ファンド Aコース〕

主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕

主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

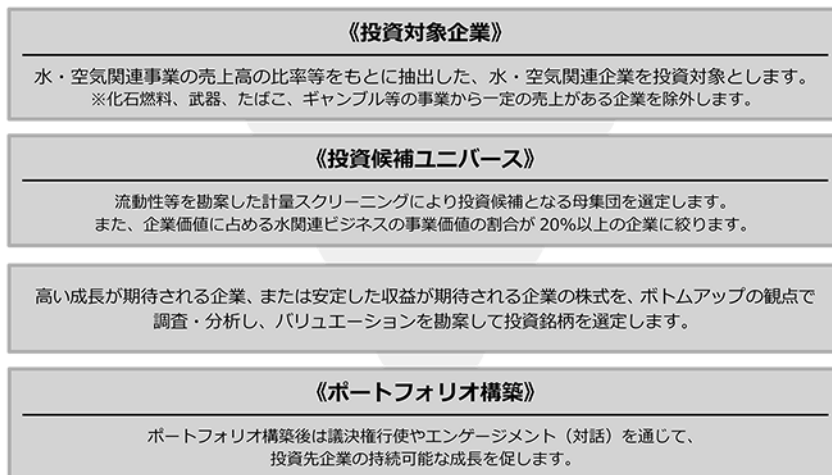
<Aコース/Bコース>

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図

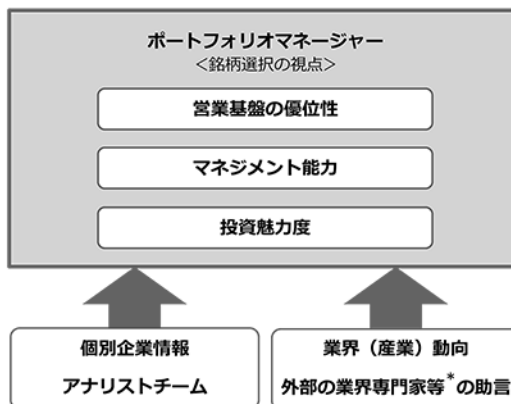
当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

■投資プロセス■



* 企業の調査・分析・ポートフォリオ構築にあたっては、ESGの視点でも投資銘柄の評価・分析を行います。

■ボトムアップによる銘柄選択■



* 水・空気関連ビジネスの大局的見地から助言を行なうものであり、個別の銘柄選択に対して助言を行なうものではありません。

※前記の投資プロセス、ボトムアップによる銘柄選択は、今後見直しを行なう場合があります。

<Aコース/Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆リパブリック・サービスズ（米国）

①事業内容

リパブリック・サービスズ（REPUBLIC SERVICES INC）は一般廃棄物処理会社です。米国で無害固形廃棄物の収集、処理サービスを手掛けています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

主に廃棄物の収集・運搬・リサイクルのサービスを提供し、廃棄物処理場、リサイクルセンター、生ごみ堆肥化施設、再生可能エネルギープロジェクトなどのネットワークを有します。都市化の進展と環境品質基準の厳格化により、廃棄物の専門的処理や管理は、環境の維持や円滑な社会活動にとって重要となっています。このような事業に従事する企業は、今後高い成長を遂げると考えています。

☆アメリカン・ウォーター・ワークス（米国）

①事業内容

アメリカン・ウォーター・ワークス（AMERICAN WATER WORKS CO INC）は水道会社です。米国の複数の州とカナダのオンタリオ州で上下水道および水道関連サービスを提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

基本的なインフラを提供してきた地方自治体の財政状況が厳しくなるなかで、上下水道のインフラの老朽化が進み、水質に関する基準の高度化・複雑化が進展し、民間資本による投資と水ネットワーク管理の能力が必要とされています。民営化が進められていくなかで、水関連サービスを提供する企業には、豊富な事業機会があると考えています。

☆ウエイスト・コネクションズ（カナダ）

①事業内容

ウエイスト・コネクションズ（WASTE CONNECTIONS INC）はごみ処理会社です。商工業、住宅向けに固形無害廃棄物の収集サービスを提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

主に地方自治体向けに非有害固形廃棄物の収集、移送、処分、リサイクルなどのサービスを提供しています。効率的な事業運営を背景に買収によって事業地域を拡大させています。都市化の進展と環境品質基準の厳格化により、廃棄物の専門的処理や管理は、環境の維持や円滑な社会活動にとって重要となっています。このような事業に従事する企業は、今後高い成長を遂げると考えています。

＜Aコース／Bコース＞

○当ファンドにおけるサステナブル投資

①水・空気関連企業への投資比率

当ファンドでは清潔で安全かつ持続可能な水の供給や大気汚染の抑制に貢献すると考えられる水関連企業や空気関連企業に投資を行ないます。2024年12月末時点のポートフォリオにおける同銘柄への投資比率は純資産総額の98.64%でした。

(出所) ピクテ

②ポートフォリオ全体に占めるテーマ事業割合

2024年12月末時点で、ポートフォリオ全体の企業価値に占める水・空気関連の事業価値割合は、71.62%でした。

(出所) ピクテ

③特定銘柄の除外

2024年12月末時点、ポートフォリオでは国際的な規範から大きく外れる銘柄や、兵器に関連する銘柄へは投資していません。

(出所) ピクテ

○スチュワードシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「ワールド・ウォーター・ファンド」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 4 月11日～2025年 4 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	454	1. 870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(241)	(0. 990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(187)	(0. 770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(27)	(0. 110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0. 024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0. 024)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0. 006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0. 006)	
(d) そ の 他 費 用	15	0. 064	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(14)	(0. 058)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	476	1. 964	
期中の平均基準価額は、24, 296円です。			

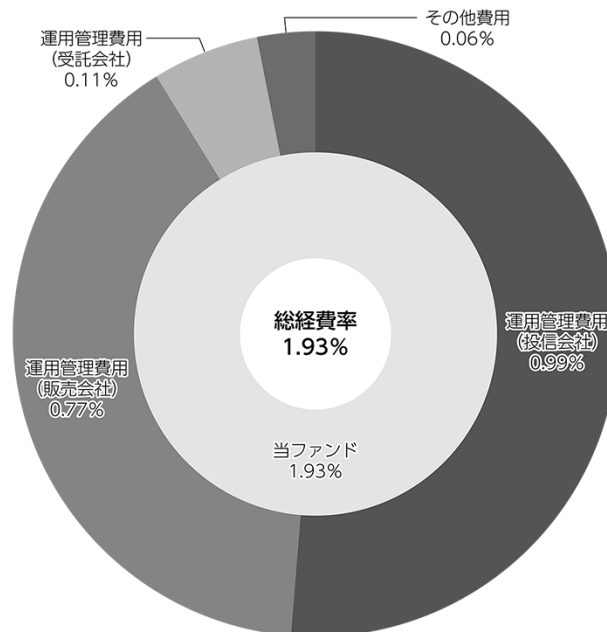
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況 (2024年4月11日～2025年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	31,305	356,400	86,413	995,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率 (2024年4月11日～2025年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,941,423千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,679,671千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.58

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等 (2024年4月11日～2025年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>
該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 2,916	百万円 13	% 0.4	百万円 5,024	百万円 6	% 0.1

平均保有割合 13.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	467千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.612千円
(B) / (A)	0.1%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2025年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	194,655	139,547	1,464,108

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,464,108	92.4
コール・ローン等、その他	120,487	7.6
投資信託財産総額	1,584,595	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,643,785千円)の投資信託財産総額(11,852,520千円)に対する比率は98.2%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.91円、1カナダドル=104.22円、1英ポンド=188.66円、1スイスフラン=172.33円、1デンマーククローネ=21.61円、1ユーロ=161.35円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,978,497,396
コール・ローン等	14,962,979
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,464,108,017
未収入金	1,499,426,202
未収利息	198
(B) 負債	1,469,018,153
未払金	1,395,010,535
未払収益分配金	56,786,871
未払解約金	312,263
未払信託報酬	16,878,758
その他未払費用	29,726
(C) 純資産総額(A－B)	1,509,479,243
元本	709,835,893
次期繰越損益金	799,643,350
(D) 受益権総口数	709,835,893口
1万口当たり基準価額(C／D)	21,265円

(注) 期首元本額は898,845,867円、期中追加設定元本額は33,605,712円、期中一部解約元本額は222,615,686円、1口当たり純資産額は2.1265円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額96,925,507円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

(注) 分配金の計算過程 (2024年4月11日～2025年4月10日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年4月11日～ 2025年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	666,872,910円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	199,037,419円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	865,910,329円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,198円
g. 分配金	56,786,871円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

○損益の状況 (2024年4月11日～2025年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	72,487
受取利息	72,487
(B) 有価証券売買損益	△167,527,103
売買益	310,171,605
売買損	△477,698,708
(C) 信託報酬等	△ 37,123,517
(D) 当期損益金(A+B+C)	△204,578,133
(E) 前期繰越損益金	199,037,419
(F) 追加信託差損益金	861,970,935
(配当等相当額)	(666,774,817)
(売買損益相当額)	(195,196,118)
(G) 計(D+E+F)	856,430,221
(H) 収益分配金	△ 56,786,871
次期繰越損益金(G+H)	799,643,350
追加信託差損益金	861,970,935
(配当等相当額)	(666,872,910)
(売買損益相当額)	(195,098,025)
分配準備積立金	142,250,548
繰越損益金	△204,578,133

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	800円
-----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年7月4日>

②「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 4 月11日～2025年 4 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 777	% 1. 870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(411)	(0. 990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(320)	(0. 770)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(46)	(0. 110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0. 024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0. 024)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0. 006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0. 006)	
(d) そ の 他 費 用	15	0. 036	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0. 030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	805	1. 936	
期中の平均基準価額は、41, 548円です。			

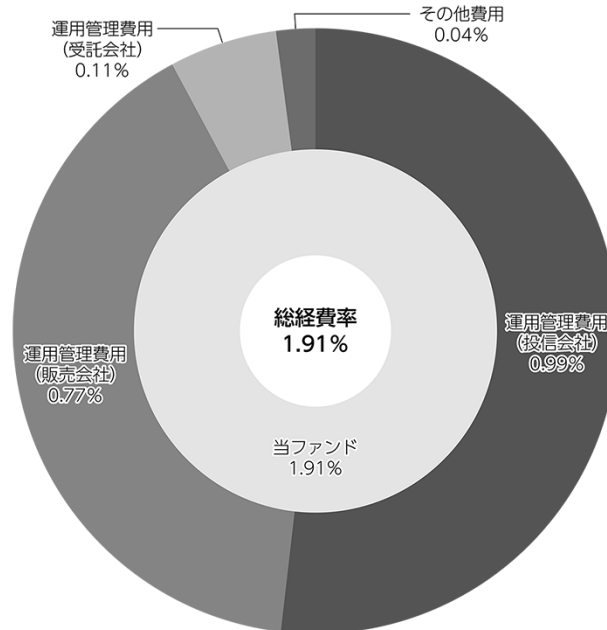
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況 (2024年4月11日～2025年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	61,028	703,100	189,388	2,132,100

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率 (2024年4月11日～2025年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,941,423千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,679,671千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.58

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等 (2024年4月11日～2025年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>
該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 2,916	百万円 13	% 0.4	百万円 5,024	百万円 6	% 0.1

平均保有割合 86.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,901千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3千円
(B) / (A)	0.1%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2025年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,049,538	921,178	9,664,821

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	9,664,821	93.1
コール・ローン等、その他	712,918	6.9
投資信託財産総額	10,377,739	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,643,785千円)の投資信託財産総額(11,852,520千円)に対する比率は98.2%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.91円、1カナダドル=104.22円、1英ポンド=188.66円、1スイスフラン=172.33円、1デンマーククローネ=21.61円、1ユーロ=161.35円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,377,739,766
コール・ローン等	102,016,828
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	9,664,821,583
未収入金	610,900,000
未収利息	1,355
(B) 負債	564,255,722
未払収益分配金	441,277,421
未払解約金	14,278,397
未払信託報酬	108,508,479
その他未払費用	191,425
(C) 純資産総額(A－B)	9,813,484,044
元本	2,757,983,883
次期繰越損益金	7,055,500,161
(D) 受益権総口数	2,757,983,883口
1万口当たり基準価額(C／D)	35,582円

(注) 期首元本額は2,921,833,162円、期中追加設定元本額は204,492,366円、期中一部解約元本額は368,341,645円、1口当たり純資産額は3,5582円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額96,925,507円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

(注) 分配金の計算過程 (2024年4月11日～2025年4月10日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年4月11日～ 2025年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,052,078,192円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	4,444,699,390円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,496,777,582円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	27,182円
g. 分配金	441,277,421円
h. 分配金(1万口当たり)	1,600円

○損益の状況 (2024年4月11日～2025年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	278,069
受取利息	278,069
(B) 有価証券売買損益	△ 963,124,355
売買益	52,924,929
売買損	△1,016,049,284
(C) 信託報酬等	△ 224,519,364
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,187,365,650
(E) 前期繰越損益金	4,444,699,390
(F) 追加信託差損益金	4,239,443,842
(配当等相当額)	(2,823,759,852)
(売買損益相当額)	(1,415,683,990)
(G) 計(D+E+F)	7,496,777,582
(H) 収益分配金	△ 441,277,421
次期繰越損益金(G+H)	7,055,500,161
追加信託差損益金	4,239,443,842
(配当等相当額)	(2,824,904,261)
(売買損益相当額)	(1,414,539,581)
分配準備積立金	4,003,421,969
繰越損益金	△1,187,365,650

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	1,600円
-----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年7月4日>
- ②「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日2025年4月10日）

作成対象期間（2024年4月11日～2025年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
17期(2021年 4 月12日)	68,345	48.5	41,152.35	51.4	98.5	—	12,383
18期(2022年 4 月11日)	81,967	19.9	49,068.97	19.2	98.4	—	14,451
19期(2023年 4 月10日)	81,630	△ 0.4	49,212.93	0.3	99.2	—	12,623
20期(2024年 4 月10日)	114,643	40.4	69,966.32	42.2	98.9	—	14,263
21期(2025年 4 月10日)	104,918	△ 8.5	70,010.28	0.1	96.8	—	11,128

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
※2025年 4 月10日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

* 参考指数（＝MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース））は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。設定時を10,000として指数化しております。
* MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（出所：MSCI、ブルームバーグ）

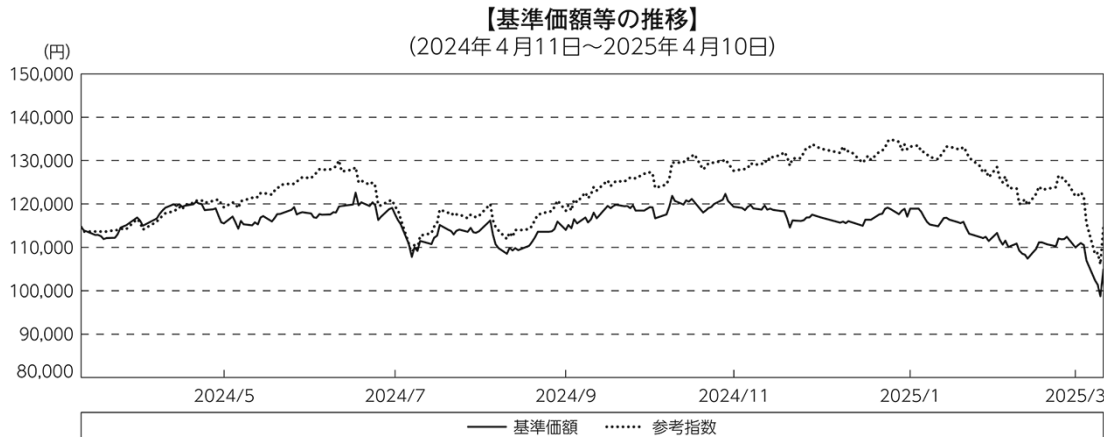
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	参 考	指 数	株 組	式 率	株 先	式 率
		騰 落 率		騰 落 率		入 比 率		物 比 率
(期 首)	円	%		%		%		%
2024年4月10日	114,643	—	69,966.32	—		98.9		—
4月末	116,875	1.9	71,120.60	1.6		98.6		—
5月末	115,540	0.8	72,746.60	4.0		98.9		—
6月末	118,095	3.0	76,998.43	10.1		98.4		—
7月末	117,722	2.7	72,863.88	4.1		98.4		—
8月末	113,673	△0.8	71,553.64	2.3		98.5		—
9月末	114,015	△0.5	72,270.85	3.3		98.9		—
10月末	119,205	4.0	77,544.55	10.8		99.3		—
11月末	119,344	4.1	77,918.04	11.4		98.9		—
12月末	116,903	2.0	81,039.46	15.8		98.6		—
2025年1月末	118,933	3.7	81,287.63	16.2		98.8		—
2月末	111,477	△2.8	77,002.76	10.1		98.7		—
3月末	109,974	△4.1	74,312.83	6.2		99.3		—
(期 末)								
2025年4月10日	104,918	△8.5	70,010.28	0.1		96.8		—

* 騰落率は期首比です。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首114,643円から期末104,918円となりました。

(上昇)

- ・ 2024年5月のFRB（米連邦準備制度理事会）の早期利下げ観測やECB（欧州中央銀行）の利下げ転換への見通しの強まり、2024年8月の米景気後退懸念の落ち着いたこと、2024年9月に中国が発表した大規模景気刺激策、2024年9-12月のFRBやECBによる利下げ実施など。
- ・ 2025年1月の米消費者物価指数で物価上昇圧力が緩和されつつあるとの見方が強まったこと、トランプ米大統領が就任初日は関税発動を見送ったことなど。

(下落)

- ・ 2024年4月のFRBの利下げ開始先延ばしの見方の強まりや中東情勢の緊迫化懸念、2024年7月の中国やユーロ圏の景気動向への警戒感の高まりや、米国の中国に対する半導体の貿易制限への懸念など。
- ・ 2025年2月～期末、米国の経済指標が悪化し景気減速への懸念が高まったこと、トランプ米新政権による関税強化など。

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレ、トランプ米大統領の関税政策などの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに下落（円高）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行ないました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

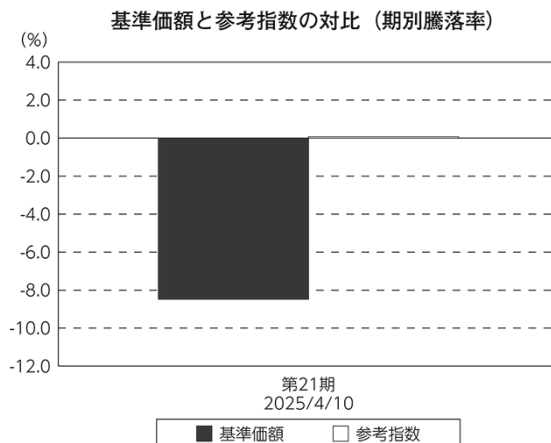
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ⑤主な売買では、スイスの特殊化学品会社や米国の廃棄物処理会社を新規に組入れました。一方で、事業売却により水関連事業の業績寄与が低下した米国の工業用機器メーカーや米国の工業機械メーカーなどを全売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）の0.1%の上昇に対し、基準価額8.5%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは異なった動きをしています。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

米国ではインフレ率が依然としてFRB（米連邦準備制度理事会）が目標とする2%を上回る水準にとどまっていることに加え、トランプ米新政権の政策が先行きの物価に与える影響が懸念されています。世界の多くの地域で消費者は慎重で、裁量的な支出を控えています。米国や欧州の製造業PMI（購買担当者景気指数）は2023年の低い水準から改善を示しているものの、米国の関税政策などが景気の先行きに与える影響については注視が必要です。米国の住宅建設の見通しは、高金利を背景に抑えられたものになると予想していますが、長期的には供給不足を反映して需要が回復していくとみています。

水関連では、米国の財政政策の成果が関連企業の受注に反映され始めており、米国を拠点とする多くの地方自治体インフラ、多角化産業、コンサルティング関連企業の業績を下支えすると予想されます。また、廃棄物処理や上下水道サービスの企業については、これまでの値上げの効果と投入コストの軟化に伴う利益率改善の恩恵を受けると予想しています。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、長期的な構造変化の恩恵をうける銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 4 月11日～2025年 4 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 28 (28)	% 0.024 (0.024)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	38 (35) (3)	0.033 (0.031) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	73	0.063	
期中の平均基準価額は、115,979円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年4月11日～2025年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 12	千円 74,309	千株 2	千円 15,207
	アメリカ	百株 1,185 (498)	千米ドル 12,204 (—)	百株 2,276	千米ドル 23,918
外 国	カナダ	84	千カナダドル 1,446	118	千カナダドル 1,937
	イギリス	440 (921)	千英ポンド 631 (224)	589 (460)	千英ポンド 1,039 (103)
	スイス	81 (—)	千スイスフラン 2,238 (△ 12)	23	千スイスフラン 973
	スウェーデン	2	千スウェーデンクローナ 111	227	千スウェーデンクローナ 10,267
	デンマーク	226	千デンマーククローネ 9,700	39	千デンマーククローネ 1,625
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	68 (—)	368 (△ 37)	128	798
	イタリア	15	5	251	91
	フランス	14	43	625	1,795
	オランダ	15	66	28	96
国	香港	—	千香港ドル —	1,443	千香港ドル 4,088
	韓国	—	千ウォン —	103	千ウォン 661,937

*金額は受け渡し代金。
*単位未満は切り捨て。
* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年4月11日～2025年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	7,941,423千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,679,671千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.58

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年4月11日～2025年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 2,916	百万円 13	% 0.4	百万円 5,024	百万円 6	% 0.1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,369千円
うち利害関係人への支払額 (B)	4千円
(B) / (A)	0.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2025年4月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数		株 数	評 価 額
機械 (100.0%) 栗田工業	千株		千株	
	12		21.2	
合 計	株 数 ・ 金 額		株 数 ・ 金 額	
	12		21.2	
銘 柄 数 < 比 率 >		1	< 0.8% >	

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AECOM		172	145	1,385	203,519	建設・土木
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC		158	143	1,565	229,970	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC		178	169	1,819	267,338	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO		63	86	646	94,938	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC		219	249	3,466	509,225	水道
BADGER METER INC		—	18	349	51,389	電子装置・機器・部品
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B		93	89	376	55,371	ソフトウェア
CLEAN HARBORS INC		—	70	1,387	203,801	商業サービス・用品
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR		1,737	1,594	2,783	408,971	水道
CORE & MAIN INC-CLASS A		662	551	2,704	397,381	商社・流通業
DOVER CORP		67	—	—	—	機械
ECOLAB INC		137	130	3,089	453,924	化学
ESSENTIAL UTILITIES INC		417	506	1,911	280,849	水道
FERGUSON ENTERPRISES INC		—	170	2,803	411,833	商社・流通業
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC		315	189	1,022	150,237	建設関連製品
GFL ENVIRONMENTAL INC - SUB VT		704	613	2,921	429,146	商業サービス・用品
IDEX CORP		116	48	845	124,192	機械
INGERSOLL-RAND INC		228	136	997	146,523	機械
MASCO CORP		182	188	1,200	176,304	建設関連製品
PARKER HANNIFIN CORP		33	44	2,641	388,123	機械
POOL CORP		35	19	607	89,228	販売
REPUBLIC SERVICES INC-CL A		228	177	4,241	623,168	商業サービス・用品
ROPER TECHNOLOGIES INC		33	—	—	—	ソフトウェア
SMITH (A.O.) CORP		106	76	480	70,658	建設関連製品
TETRA TECH INC		97	595	1,779	261,466	商業サービス・用品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		67	59	2,715	398,919	ライフサイエンス・ツール/サービス
TORO CO		105	—	—	—	機械
VERALTO CORP		281	224	2,046	300,585	商業サービス・用品
WASTE CONNECTIONS INC		228	178	3,440	505,453	商業サービス・用品
WASTE MANAGEMENT INC		163	118	2,650	389,403	商業サービス・用品
XYLEM INC		368	258	2,861	420,367	機械
FERGUSON PLC		197	—	—	—	商社・流通業
PENTAIR PLC		388	342	2,877	422,761	機械
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	7,790 30	7,197 29	57,620 —	8,465,057 <76.1%>	
(カナダ)				千カナダドル		
STANTEC INC		171	135	1,634	170,398	建設・土木
WSP GLOBAL INC		117	119	2,859	298,015	建設・土木
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	289 2	255 2	4,494 —	468,414 <4.2%>	
(イギリス)				千英ポンド		
HALMA PLC		329	265	633	119,505	電子装置・機器・部品
SEVERN TRENT PLC		529	509	1,266	238,859	水道
UNITED UTILITIES GROUP PLC		1,021	1,075	1,089	205,587	水道
PENNON GROUP PLC		721	1,092	471	89,044	水道
SPIRAX GROUP PLC		71	43	239	45,237	機械
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2,673 5	2,986 5	3,701 —	698,234 <6.3%>	

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス)		百株	百株	千スイスフラン	千円
GEBERIT AG-REG		26	18	955	164,645
SIKA AG-REG		—	66	1,207	208,032
小 計	株 数 ・ 金 額	26	84	2,162	372,677
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<3.3%>
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ	
ALFA LAVAL AB		224	—	—	—
小 計	株 数 ・ 金 額	224	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>
(デンマーク)				千デンマーククローネ	
NOVONESIS (NOVOZYMES) B		97	284	10,685	230,908
小 計	株 数 ・ 金 額	97	284	10,685	230,908
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.1%>
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ	
GEA GROUP AG		—	66	328	52,979
BRENTAG SE		215	88	471	76,014
小 計	株 数 ・ 金 額	215	155	799	128,993
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<1.2%>
(ユーロ…イタリア)					
HERA SPA		1,353	1,117	405	65,368
小 計	株 数 ・ 金 額	1,353	1,117	405	65,368
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.6%>
(ユーロ…フランス)					
VEOLIA ENVIRONNEMENT		1,032	422	1,194	192,784
小 計	株 数 ・ 金 額	1,032	422	1,194	192,784
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.7%>
(ユーロ…オランダ)					
AALBERTS NV		156	144	374	60,400
小 計	株 数 ・ 金 額	156	144	374	60,400
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.5%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,757	1,838	2,773	447,547
	銘柄 数 < 比 率 >	4	5	—	<4.0%>
(香港)				千香港ドル	
HAIER SMART HOME CO LTD-H		1,443	—	—	—
小 計	株 数 ・ 金 額	1,443	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>
(韓国)				千ウォン	
COWAY CO LTD		103	—	—	—
小 計	株 数 ・ 金 額	103	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>
合 計	株 数 ・ 金 額	15,406	12,647	—	10,682,840
	銘柄 数 < 比 率 >	46	44	—	<96.0%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	10,776,926	90.9
コール・ローン等、その他	1,075,594	9.1
投資信託財産総額	11,852,520	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（11,643,785千円）の投資信託財産総額（11,852,520千円）に対する比率は98.2%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝146.91円、1カナダドル＝104.22円、1英ポンド＝188.66円、1スイスフラン＝172.33円、1デンマーククローネ＝21.61円、1ユーロ＝161.35円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,589,810,868
コール・ローン等	1,067,129,769
株式(評価額)	10,776,926,556
未収入金	737,292,165
未収配当金	8,461,208
未収利息	1,170
(B) 負債	1,460,894,756
未払金	762,794,756
未払解約金	698,100,000
(C) 純資産総額(A－B)	11,128,916,112
元本	1,060,726,434
次期繰越損益金	10,068,189,678
(D) 受益権総口数	1,060,726,434口
1万口当たり基準価額(C／D)	104,918円

(注) 期首元本額は1,244,194,252円、期中追加設定元本額は92,334,573円、期中一部解約元本額は275,802,391円、1口当たり純資産額は10.4918円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 921,178,595円
・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 139,547,839円

○損益の状況 (2024年4月11日～2025年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	175,925,677
受取配当金	171,187,904
受取利息	4,430,886
その他収益金	306,887
(B) 有価証券売買損益	△ 1,238,420,946
売買益	767,966,141
売買損	△ 2,006,387,087
(C) 保管費用等	△ 4,552,168
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 1,067,047,437
(E) 前期繰越損益金	13,019,569,297
(F) 追加信託差損益金	967,165,427
(G) 解約差損益金	△ 2,851,497,609
(H) 計(D＋E＋F＋G)	10,068,189,678
次期繰越損益金(H)	10,068,189,678

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2024年7月4日＞

②「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2025年4月1日＞